

# 時事新報

第二千八百三十七號  
明治三十三年十一月十三日 木曜日  
舊曆庚申十月二日 (戌戌)  
出午四時三十分  
出午六時三十分  
出午八時三十分  
出午十時三十分  
出午十二時三十分  
出午二時三十分  
出午四時三十分  
出午六時三十分  
出午八時三十分  
出午十時三十分  
出午十二時三十分  
(西曆一千八百九十年)

### 時事新報定價

時事新報一年三百六十五日一日モ休刊セス其代價  
送送料廣告料ハ左ノ如シ  
一紙二角〇〇三箇月前金五十五角〇六箇月前金三  
〇〇一箇年前金六角  
〇時事新報社ニ直接ニ郵便ニテ送付スルモノニ限リ右定價ノ外ニ  
郵月十五角ノ送送料ヲ申受ク

### 時事新報廣告料前金

一行五號活字世四號字	一日限	六日以上	七日以上
一行	二行	三行	四行
付	十二號	十一號	十號五號

### 製糖會社株式の賣買

此頃株式の市場は秋聲と共に一體に淋しき折柄彼製糖株のみ獨り時をさるる春色を催はして落葉枝頭に狂花を附くるが如き奇相を呈したるより取引所員は其終に違約の變を生じて賣買擔保の責を所に歸せらるゝもともあらんかど其邊の預防の爲め先づ證據金の割合を引上げ尋で一時賣買を中止して十月限の受渡は難かく局を結びたり取引所の爲めには先づ以て目出度き次第なれども我輩は此一事を自擊してまず「プールの不利を明にするものあり今回の事にては内實心配する者は所の役員なれどもいよく違約を爲りたる上にて賣買の商人には毫も危險ある可らず何ぞされば取引所と名くる一中心が買買雙方の中間に立ち資本二十萬圓の中より損害を償ふとなればなり故に買買當局の者十八人なれば十八人が皆各々二十萬圓の身元ある妻にして雙方共に掛念なく取引を約するを得れば一人の信用を頼むの外なきが故に買買に危險の多きは論を俟たずして明なる可し或は會員組織にても其役員は必ず買買上に確實を重んじ夫れ「取締の工風もある可し」と雖も不時の事變に由て起る所の損失は結局買買雙方の一個人に歸して會所の與り知らざる所のものあれば其責任自から輕くして彼の證據金を高き買買を中止するが如き心配もなく偶々取締の法を施すとて唯市場全體の利害より商人の注意を促がすに過ぎざる可し之を株式組織の役員が會所の利害即ち其私利の損益に迫られて苦心するものに比すれば固より同日の論に非ず若しも斯る取引をして其行かんと欲する所に行かじればより制止するものなくんば強氣も弱氣も勢に乗じて儲けの實力以外に買買を約し損得の高低よく大なるに隨て違約の變もいよく多く扱大變に至りて損害の償を求るの道は甚だ窮屈にして唯相手の一個人あるのみ取引の安全と云ふ可らざるなり左れば商人等は買買にも買買にも常に其相手を擇んに忙しくして取引上既に括弧價格の妙を缺き一朝相場の変に逢へば忽ち違約の災に罹りて市場全體の信用を損るゝとある可し目下東京株式取引所に製糖株取引の事あるを偶々然なれば、取引に關係する商人等が試に二様の想像を蓄

### 農業者銀行設立趣旨

農業者銀行の設立と共に動産、農業の私立二銀行も設立を許可し且つ之を奨励する都合なりとは近頃世上に噂する處なるが今茲に政府が農業銀行設立の計畫を爲したる趣旨なりと云ふを聞くに其目的は農業獎勵にして間接に之を保護するに在れども尙ほ詳述せんには元來我邦は農業事務の國柄にして作物の豊凶は忽ち全般の繁昌にも影響する次第なれども從來之を振起し又擴張するの法を缺き實際農家の困難云ふに忍びざるものあり日本全國の總地價は十四億餘圓なるに其内公債を経て他に買入と爲りし高は一億五六千萬圓なれども更に親類若くは親戚なる知人の間柄に於て表面の手續を履かず金銀を融通して之が抵當となせる分は尙かに三億圓もあるべく此他又町村借用金の爲め地所の買入と爲したるものも現に八百萬圓を下らずと云ふ實に全地價三分の一以上は全く買入の姿なるに又其金利の被擧を穿鑿すれば何れも意外ある割合にて中にも其低利も一割五分より段々上りて三割迄の高利なるものあり星を戴いて出で夕に月を踏んで歸る農民が一年殆んど休息の餘暇なき報酬は却て薄利を收むるに過ぎず而して斯る高利の金銀を融通するに於ては逆も之を持堪へ得べきにあらざして年々歳々其財産の一部の金満家に吸収せらるゝの外なしと云ふが第一の原因なり又從來各地方に於て國立私立銀行の設立ありて金融の機關と爲り其國立銀行さへも附分場所に依ては地所抵當を以て莫大なる金額を融通せるもの寡からず或は只之を以て融通の繁忙を見る向きさへある次第なるに元と農業に關する改良擴張は最も永日月を期する者にて金銀の貸借は永期限の流用を望むものなれども尋常銀行の如きは孰れも三四箇月が通例にて最も永き期限が六箇月位なれば常に其收利を以て諸拂を拂する農民に取ては不便を感ずるものと少からずと云ふが第二の原因なり斯る際合なるを以て茲に農業銀行を各地方に起し其銀行は資本金五萬圓以上とし農産物抵當を以て銀行券を發し若くは他の方法にて農業銀行より資金の流用を爲さしめ極めて低利を以て農業者全般に融通するのみならず又更に貸借期限を永くして返済の便利を興へ或は荒地開墾又は水利土功用の爲めに借入れたるものは年賦返済の便利を興ふる都合ありと云ふ

### 愛蘭名士の脱走

過日の本紙電報欄内に見えし如く愛蘭の名士ナロン、オプライマンの兩氏は愛蘭の小作人を煽動して借料の拂を差止めんとしたる處を以て拘留せられナツペラリー市の裁判所に於て審問を受け居る身あるにも拘はらず此程に本國を脱走し米國に赴きたるを以て兩氏の保釋金かの一十磅は沒收せられたり今兩氏が本國を脱走したる詳細を記さんに客月十日ナツペラリーの裁判所に於て再び兩氏の審問

### を始むる筈なりしも出廷せざりしかば多分米國に向ける

脱走したるあらんと風説傳播して人心を動かし米國一方から最初は愛蘭のクンスマウン港より乗船せしなるべしとの噂ありしも汽船會社の役員も兩氏の事に就て少しも聞知せず亦同港にて兩氏の形跡を知るものなかりしかば政府の探偵吏は兩氏が未だ本國を脱立せず何處かに潜伏するならんと信じてクンスマウン港内に入入する諸船を逐る暇なく探索したれども其甲斐なく人々之を怪しむ折柄兩氏共に佛國のシムルプー港に安着せりとの電報に接するに至れりも兩氏が斯く巧に本國を脱走するを得たる所以を尋ねるに兩氏は同月八日の夜密に愛蘭マブリン府の南東八哩の所にあるマルケイよりボートに打乗りて海岸を距る二哩の海上に碇泊せし快走帆船に漕ぎ付け直に之に乗組みて出發し數日を經て同月十五日シムルプー港に着し其夕方巴里に赴けり今兩氏が脱走を企てたるは政府の爲に獄舎に幽閉せらるゝを恐れたるものに非ず全く兼てより約束せし如く愛蘭黨の代表者となりて米國に渡り諸方遊説して米人の心を動かかし以て黨勢を助けしめんとするが爲にして兩氏共に巴里に八日間滯留の後紐育に渡り米國に四箇月計り滯在の上英國に歸り身を當局官吏の手に委ねて其刑罰を受くるの決心なりと云ふ

### 露國漂流人引渡となる

義に居留地警察署より同國領事へ引渡しとなりたる漂流人三名は同領事よりの依頼に付當分預り置きしに忽ち一昨十一日を以て同領事へ引渡し清となりたるよし

### 故小野職憲氏 過日死去したる小野職憲氏は其生前

に内閣勸業博覽會審査官勲章の賞として藍綬褒賞を賜りたる由氏は本邦植物學の泰斗たる小野蘭山翁の後裔にして尤も植物學に精しき人なりと云ふ

### 中嶋安邦氏の歸朝 法律學修業の爲め米國へ滯留中

なりし中嶋安邦(又五郎氏)の舍弟氏は米國大學校に於て法律全科卒業の未去る十日横濱若港の米船にて歸朝したりと

### 鈴木秀太郎氏の洋行 警備總監鈴木秀太郎氏は三

箇年の見送を以て來年早秋歐米へ渡航するよし

### 平賀技師 農商務三等技師平賀義美氏は福井縣福井

市に開く編輯物品許會へ參事の爲め去る十日出發したりと

### 新任米國總領事の未着 横濱駐在の米國新任總領事

ジョン・エ・ゴウウエ氏は去る十日入港の米郵船ベナンクにて渡來の筈なりしも病氣の爲め遅引せしと云ふ右に付朝鮮へ赴任の筈なるグレット・ハウス氏は暫時出發を見合したりと

### 専門學校生徒の德義養成 早稻田專門學校の生徒中

目下社會の德義衰微甚きを憐愍する者十數名協同して政治法律研究の勵力を以てさらに德義養成の講究を爲さんとて教友會と名ける一會を組織し大内青輔氏を會長に聘して同志を募りしに同校生徒のみにても忽ち二百餘名の入會を得たれば牛込喜久井町の來迎寺に會場を設けて時々集會するよと定むるよし

### 京橋區協同會 にては明十四日午後六時より規則第

七條に據り協同會總會を開き席上三浦安氏は協同會

### 芝區懇親會 來る十八

館に於て芝區長鈴木其輔名集會して懇親の宴會を

### 山口縣會の役員 去る

會にて議長副議長を撰舉

### 彌生神社の祭典 警視

警官等を合祭したる彌生

### コレラ病流行の爲め

日間九段の精國神社境内

### 月照和尚の三十三回忌

當日は警部巡查の野試合

### 總監始め各警察官も参拜

を以て勤王家の領袖とな

### 西海の濶肩と化し去りたる

の三十三回忌に相當する

### にして當時勤王家たりし

云ふ

### 淺草米蔵入札米 一昨

に於て第卅回外國米一

### 當日の募集者は凡四百五

落札八十一枚決定價額は

### 無効十七枚なりしにして

同安百八十五合にて合計

### 結果は左表の如し

倉番	藏人	合
一〇	二五	三五
二〇	五〇	七〇
三〇	七五	一〇五
四〇	一〇〇	一四〇
五〇	一二五	一七五
六〇	一五〇	二一〇
七〇	一七五	二四五
八〇	二〇〇	二八〇
九〇	二二五	三一五
一〇〇	二五〇	三五〇
一一〇	二七五	三八五
一二〇	三〇〇	四二〇
一三〇	三二五	四五五
一四〇	三五〇	四九〇
一五〇	三七五	五二五
一六〇	四〇〇	五六〇
一七〇	四二五	五九五
一八〇	四五〇	六三〇
一九〇	四七五	六六五
二〇〇	五〇〇	七〇〇
二一〇	五二五	七三五
二二〇	五五〇	七七〇
二三〇	五七五	八〇五
二四〇	六〇〇	八四〇
二五〇	六二五	八七五
二六〇	六五〇	九一〇
二七〇	六七五	九四五
二八〇	七〇〇	九八〇
二九〇	七二五	一〇一五
三〇〇	七五〇	一〇五〇
三一〇	七七五	一〇八五
三二〇	八〇〇	一一二〇
三三〇	八二五	一一五五
三四〇	八五〇	一二〇〇
三五〇	八七五	一二三五
三六〇	九〇〇	一二七〇
三七〇	九二五	一三〇五
三八〇	九五〇	一三四〇
三九〇	九七五	一三七五
四〇〇	一〇〇〇	一四一〇

### 仙臺盛岡汽車開通

したる日本鐵道會社の車

### 客其他の景況を聞くに

ものは毎日二十三人に

### て出立するものは更に

さる程なれば隨て貨物

### 地郵便局内に設けあり

りたるを以て今度居留地

### を交換局に充つる都合

〇淺草園 淺草公園に

### 成して一昨日其開園式

にして海面より直立二三

### 然の高きも人造の噴霧

の頂上に登り眼を張り

### の境内はツイ目の下に

更に顔色なく墨田川は

### 布を晒せし如く八百八

屋内を伏藏する事を得

### 吉原と洲崎の化粧道具

は關八州を一瞬みにす

### 層々毎に恰も勤工場の

の協同、日下義雄氏は教

### すといふ

〇芝區懇親會 來る十八

### 館に於て芝區長鈴木其輔

名集會して懇親の宴會を

### 山口縣會の役員 去る

會にて議長副議長を撰舉

### 彌生神社の祭典 警視

警官等を合祭したる彌生

### コレラ病流行の爲め

日間九段の精國神社境内

### 月照和尚の三十三回忌

當日は警部巡查の野試合